

無償資金協力事業

1. 土地改良・灌漑機材整備計画（実施済み）

（交換公文署名：2004 年 3 月、供与額：6.24 億円）

アゼルバイジャンでは農産物の 90 パーセントは主に旧ソ連時代に開拓された灌漑地域で生産されているため、用排水路の適切な維持管理が重要である。しかし、当時アゼルバイジャン政府は財政状況が厳しく、老朽化した機材の更新が困難なため、水路の維持管理作業に支障を来し、農産物の生産に厳しい影響を与えていた。この協力では、主要農業生産地域に灌漑整備に必要な機材の供与を支援した。これにより、灌漑用水路や排水路の維持管理が適切に実施されるようになり、対象地域（サビラバード、サリヤン、サートリ、ネフトチャラ）の農業生産の回復に寄与した。

2. 第二次土地改良・灌漑機材整備計画（実施済み）

（交換公文署名：2013 年 4 月、供与額：7.77 億円）

アゼルバイジャン南部地域は降水量が少なく、地下水が塩分を含み水位も高いことから、農業生産を行うには圃場の地下水位を低下させるための排水と灌漑が不可欠である。そのため、広範囲な灌漑用水路および排水路の整備が行われていたが、定期的な浚渫作業に必要な機材が不足し、堆積土砂により用排水機能が低下し、農作物の収穫量にも大きな影響が出ていた。この協力では、南部地域 4 地区（アグジャベディ、イミシュリ、ベイガラン、フィズリ）を対象に浚渫用機材の整備を支援した。これにより、浚渫作業能力の向上に寄与した。

